

やまがた環境展2024

◎ 開催日

令和6年10月19日及び10月20日

◎ 開催場所

山形国際交流プラザ「山形ビッグウイング」
(山形市平久保100)

◎ 主な内容

- ・ 著名人によるトークショー
出 演：元女子モーグル日本代表 上村愛子氏
テーマ：昨今の雪山から感じる環境への意識
- ・ 出展企業・団体による情報発信(46社・団体)
- ・ 各表彰式
- ・ おもちゃの交換会「かえっこバザール」
- ・ エコライフやまがた2024(協賛事業)
- ・ エコカップやまがた2024(協賛事業)
- ・ スポGOMIやまがた環境展2024大会(協賛事業)
- ・ やまがた新車フェスティバル2024(協賛事業)
- ・ マイカー点検フェスティバル2024(協賛事業)

◎ 参加者数

- ・ 来場者数：合計17,681人
- ・ 多くの方々に楽しみながら、環境に対する理解を深めていただいた。



持ち歩こう！マイボトル運動【新規】

◎ 目的

「ごみゼロやまがた」及びカーボンニュートラルの実現に向けて、もったいない山形協力店を始めとした関係事業者と連携し、「マイボトル」の普及啓発を行うことにより、使い捨てプラスチック製品の使用抑制やプラスチックごみの削減に係る意識啓発を図り、県民のライフスタイルの変革、環境意識の向上につなげる

◎ 実施内容

- ① マイボトル対応店の紹介
「もったいない山形協力店」(飲食店・宿泊施設・小売店)のうち、マイボトルへの飲料提供が可能な店舗を「マイボトル対応店」として県HPで紹介(43店舗)
- ② 県機関へのマイボトル用給水器の設置 3施設
(県庁舎、県環境科学センター、県立こども医療療育センター)
- ③ 県内スーパーにおける普及啓発(令和6年10月)
「もったいない山形協力店」(スーパー)店頭において、マイボトル向けの商品(粉末飲料等)の紹介と併せ、マイボトルの利用を呼びかける啓発POPを設置(12社154店舗)
- ④ やまがた環境展における普及啓発(令和6年10月)
- ⑤ マイボトルプレゼントキャンペーン(令和6年10月)
キャンペーンサイトからプラスチックごみに関するクイズに回答した方に抽選で県オリジナルボトルをプレゼント

◎ 成果等

キャンペーン応募数 131件



「もったいない山形協力店」食べきり運動・おいしい食べきりキャンペーン【新規】

◎ 目的

飲食店・宿泊施設の食品ロス削減の取組みを後押しするとともに、県民に対して食品ロス削減の普及啓発を図り、県民・事業者等による廃棄物の発生抑制につなげる

◎ 実施店舗

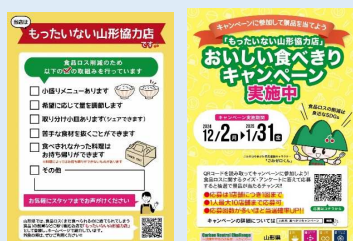
もったいない山形協力店のうち、希望した飲食店・宿泊施設 155店舗

◎ 実施内容

- ・ 県が作成した、小盛メニュー、食事量の調整、持ち帰り等の各店舗の取組みを見える化するためのPOPスタンドを配付し、お客様に「もったいない山形協力店」であることや、各店舗の取組みを知っていただくとともに、料理の食べきりを呼びかける(通年)
- ・ 食品ロスについて考えるきっかけとしていただくため、上記POPから専用フォームにアクセスし、食品ロスに関するクイズに参加していただいた方にプレゼントを進呈するキャンペーンを実施(12月～1月)

◎ 成果等

- ・ キャンペーン応募数 287件



県機関でのフードドライブ

◎ 実施場所及び期間

実施場所	期 間	参加者
県庁(県庁舎)	①8月21・22日 ②1月22・23日	県民・庁舎職員
村山総合支庁 (本庁舎・村山保健所 西村山・北村山地域振興局)	①8月27～30日 ②1月28～31日	県民・庁舎職員
最上総合支庁 ①管内市町村庁舎 ②本庁舎	①10月1～31日 ②10月30・31日	県民・庁舎職員
置賜総合支庁 (本庁舎・西置賜地域振興局)	①8月27・28日 ②2月19・20日	県民・庁舎職員
庄内総合支庁 ①小真木原総合体育館 (環境フェアでおか2024会場) ②本庁舎	①9月22日 ②11月12・13日	①県民 ②県民・庁舎職員

※県庁では、食品のほか、生活用品及び学用品を受入れ

3R研究開発事業費補助金・
循環型産業施設整備事業費補助金

◎ 交付決定事業(※外部委員による評価委員会で審査)

【研究開発】

- ① こめ油製造時における産業廃棄物削減のための脱脂米糠等のコンポスト化に関する研究開発
- ② プラスチック素材に代わる再生紙・生分解性紙のデザイン性の高い子供向け玩具開発

【施設整備】

- ・ 汚泥の堆肥化のための施設整備 2件
- ・ 廃プラスチックの燃料化のための施設整備 1件
- ・ 使用済み自動車由来の廃プラスチックの再資源化のための施設整備 1件

リサイクル認定製品展示会

◎ 背景

- ・リサイクル認定製品の利用拡大に向け、製造事業者の声を聞いたところ、「商談会等よりも、一般県民へのPRが先」との意見が多かったため、展示会を企画
- ・展示会会場は、常態的に来店者の見込める大型商業施設等とし、内陸会場と庄内会場の2か所で開催

◎ 開催日及び場所

- ・令和6年9月14日～15日（週末2日間）
イオンモール天童（天童市芳賀タウン北）
- ・令和6年11月2日～3日（週末2日間）
イオンモール三川（東田川郡三川町猪子）

◎ 内容

- ・全認定製品（57製品）の紹介パネル展示、一部製品のサンプル展示、認定製品がもらえる抽選会
- ・スタッフによる案内、説明
- ・民生品（使用済み自動車のエアバッグ等を用いたバッグや木材の端材を利用したキーホルダーやマグネット、水解紙の端材を使用した清掃用品）の製造事業者による即売
- ・フードドライブ活動に関するパネル展示

◎ 成果等

- ・来場者 イオンモール天童：808人
イオンモール三川：906人 計 1,714人
- ・スタッフの説明を熱心に聞かれる方が多く、また、親子での来場も目立った



とびしまクリーンツーリズム

◎ 背景

海岸の清掃体験、海ごみ問題に関するグループ討議や座学を行うとともに、スノーケリングなどの飛島の豊かな自然に触れる活動を通じて美しい自然と豊かな海を守ることの大切さを理解し、海ごみ問題解決のために参加者が自ら考え、実践につなげていく意識の醸成を図る

◎ 開催時期

令和6年度は、令和6年7月から8月に計4回開催（うち1回は荒天により定期船が欠航したため、飛島ではなく本土（酒田市内）での事業実施となった。）（豪雨災害により1回中止。）

◎ 対象

県内の小学5年生から中学2年生までの子どもとその保護者

◎ 主な内容

- ・海岸清掃体験（海岸での清掃活動）
- ・海ごみ講座（海ごみ問題について写真や映像で説明）
- ・グループ討議（海ごみ問題についてグループ討議）
- ・海ごみビンゴ（海ごみで行うビンゴゲーム）
- ・スノーケリング※（飛島の豊かな自然に触れる）
※飛島のみ

◎ 成果等

- ・参加者 29組 58人

